



# 浜研通信



第9号

平成26年3月

## 浜地域研究所の近況をお知らせします

東日本大震災から3年が経ちました。まだまだ厳しい状況が続いていますが、浜通りの農業再建に向けて、今後とも新たな農業生産技術の研究を進めてまいります。

### 花き類



園芸用ハウスの中では、ヒマワリとカンパニュラ、キンギョソウが開花し収穫時期をむかえています。これらは冬場に無加温で栽培できる品目であり、初夏から秋にトルコギキョウを栽培した後作として期待されています。

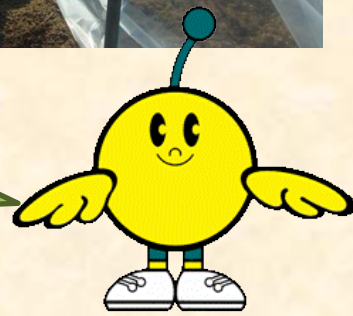
### アスパラガス



3月上旬に露地アスパラガスほ場においてトンネル設置を行いました。トンネル被覆により春の収穫、立茎時期を前進させることができます。積雪が少ない浜通りならではの技術です。



## 春はもうすぐ。



# 研究成果のご紹介



## 津波被害ほ場での水稲栽培

東北地方太平洋沖地震の津波により海水や土砂が流入した水田及び畑において、除塩管理を行い、作付けを再開した水稲の生育への影響を調査しました。

津波を受けた水田で2012年に除塩（炭カル100kg/10a施用し代かき2回）して水稲を作付けした結果、塩害は認められませんでした。しかし、無肥料での栽培にもかかわらず、流入した土砂が富栄養化していたため倒伏しました。2013年は、慣行施肥での栽培でしたが倒伏は軽減しました。

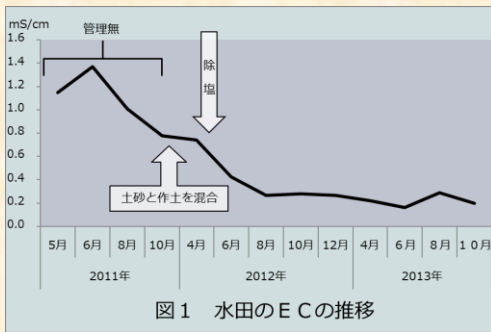


表1 水稲成熟期の生育及び収量

年次	品種	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 (0-400)	精玄米重 (kg/10a)	検査等級
2012	コシヒカリ	97.1	17.7	398	318.0	504.0	1等
2013	ひとめぼれ	88.4	19.0	390	45.0	552.0	1下

※EC（電気伝導度）：土壌の塩分濃度と相関関係にあります。

## 夏まきブロッコリーの灌水同時機械移植技術



高温乾燥期に苗を定植する夏まきブロッコリー栽培において、定植1週間前から塩水灌水し耐干性を付与したセル成型苗を用い、定植時に少量灌水する機械移植技術について検討しました。灌水オプションを装着した汎用野菜移植機で定植と同時に株当たり約30mlの少量灌水を行うことにより、作業の省力化が図られるとともに、苗の活着がよくなり、収量も安定して高くなりました。

表 ブロッコリーの活着率及び収量

区名	活着率(%)		収量(kg/10a)	
	2012年	2013年	2012年	2013年
定植同時灌水	95	98	934	933
灌水無し	73	72	680	609



移植機の灌水オプション

# 作物の生育状況

## 〈水稻の作況試験〉

水稻の作柄解析試験での収量は、ひとめぼれは平年に比べ千粒重が小さかったものの、登熟歩合が高かったため、平年比108で多収となりました。コシヒカリは平年に比べ㎡当たり穂数が多いものの、千粒重が小さくなったため、平年比102と平年並みとなりました。外観品質は、ひとめぼれは1等で、コシヒカリは白未熟により2等となりました。

## 〈大豆の作況試験〉

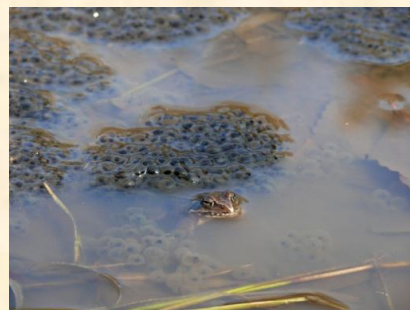
平成25年の大豆作柄解析試験での収量は、百粒重が小さく、また虫害が大幅に増えたため、標播で平年比72%、晩播で68%と大きな減収となりました。虫害は被害粒の6～7割がカメムシによる吸汁害でした。品質は2等でした。

# 田んぼの生き物たち

農業に関わる生き物の紹介

## ニホンアカガエル(カエル目アカガエル科)

田んぼやその周辺に棲むカエルの中で、早春真っ先に産卵するのがアカガエルの仲間です。浜通りでは3月になると水田周辺の水溜まりや休耕田に産卵します。孵化したオタマジャクシは水路などを通して田んぼに入ることもあり、また親のカエルは田んぼの中で虫たちを捕食します。カエルは生物多様性の指標にもなっていて、カエルが多い田んぼは生き物が多い証にもなるのです。



休耕田に産卵したニホンアカガエルとその卵塊

# 平成25年度農業総合センター研究成果発表会のお知らせ

口頭発表・ポスター展示等で最新の研究成果をわかりやすくお伝えします。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

〈双葉・いわき方部〉

3月17日(月) 13:00～16:10

広野町公民館大会議室

〈浜地域研究所〉

3月20日(木) 13:00～16:10

福島県立テクノアカデミー浜101教室



■申込み・問合せ先: 福島県農業総合センター 企画技術科

電話 024-958-1700 FAX 024-958-1726 メール [nougyou.jouhou@pref.fukushima.jp](mailto:nougyou.jouhou@pref.fukushima.jp)

編集・発行 福島県農業総合センター浜地域研究所

浜地域研究所

検索

〒979-2542 相馬市成田字五郎右エ門橋100 TEL (0244)35-2633 FAX (0244)35-0319

ホームページ [http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/bu\\_hama/hama\\_index.htm](http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/bu_hama/hama_index.htm)